

学校運営協議会議事録

校名	府立淀商業高等学校
校長名	村上 憲文

開催日時	令和5年2月16日(木) 13:00 ~ 14:30
開催場所	会議室
出席者(委員)	委員 6名参加
出席者(学校)	村上 憲文 校長、坂脇 康文 教頭
傍聴者	なし
協議資料	次第、令和4年度学校経営計画及び学校評価、学校教育自己診断結果
備考	

議題等(次第順)	
<p>(1)学校経営計画及び学校評価について                  (2)近況報告、今後の予定について                  (3)その他</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>(1)学校経営計画及び学校評価において、介護福祉士の結果(3月24日発表)は、未掲載で実施した。                  ・学校経営計画及び学校評価のフォーマットが決まっているのであれば仕方ないが、自己評価は狭いように思う。実際に取り組みられた内容であるため、枠を広げてもっと書くことができればよいのではないかと思う。                  ・資格取得で、特に1級に関しては各コースの生徒が受験する非常に専門性の高い内容になっている。そのため目標値とは乖離した合格率となっているが、簡単に合格できる検定ではないため、それなりに頑張った結果ではないかと思う                  ・コロナ禍と府への移管の激動の中、学校経営を順調に実施されてきたことだけで素晴らしいと思う。                  ・全商商業経済検定3級の合格率が低すぎる。大阪府の商業高校の中で、経済分野を深く学習しているのは淀商の特徴である。そのため、基礎級でもあるこの検定は、もっと合格率を上げなければならない。                  ・ICT関連の整備が整ったということで、特にプロジェクターを活用し、生徒にとって分かりやすい授業を実施してもらいたい。今後、大いに期待している。                  ・今年度、福祉ボランティア科では、地域の高齢者施設を2つ繋げて対抗戦のようなゲーム大会を行った。このようなリアルタイム接続はICT技術の特徴をよく生かしている。                  ・福祉科だけでなく、商業分野でもこのようなリアルタイム接続を活用できる要素は多くあるはずである。他府県でも、このような取り組みを希望している学校は多くあり、次年度は、他校と接続した取り組みを実施してもらいたい。                  ・コロナ禍でICTに関する取り組みに関しては、よくやられているほうであるという印象である。このような実践が、次年度につなげる素地になると感じている。今後の取り組みが楽しみである。                  ・淀商モールの開催時にメタバースを経験したが、生徒のAvatarが全員さんサンタクロースの同じ衣装になっていたため混乱した。次回には、せめて帽子の色を変えるなど、ひと工夫をお願いしたい。また、来客用の独自のAvatarをつくるなども検討してほしい。                  ・いじめについて、生徒の回答では「先生はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」の項目に否定的な回答が16%ある。逆に、教員は「いじめ(疑いも含む)がおこった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」の肯定的回答が100%である。生徒に対して、もっといじめに対する相談体制について周知するべきである。中学校では、生徒が相談相手の先生を選ぶことができるようなシステムもある。                  ・図書館の利用率が年々下がっている。中学校では、図書館の運営に昼休みは地域ボランティアの方が運営し、放課後には、学生ボランティアが運営している。                  ・働き方改革について、工夫をしていることがあれば教えてほしい。</p> <p>(2)特に意見は出なかった。                  (3)令和5年度の委員選出について、次年度の開催日程について</p>	

次回の会議日程	
日時	令和5年6月予定
会場	未定